

日本認知言語学会第9回全国大会プログラム 【2日目】

9月14日(日) 受付9時10分から (受付は1日間に受付を済まされていない方だけで結構です)

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室
		1B館 1B011	1B館 1B013	1B館 1B014	1B館 1B015	7号館 701	7号館 702
第1発表	9:30 10:10	「9つの言語における「共感覚的比喩」-「視覚を表す語」と「触覚を表す語」を中心に」武藤(酒井)彩加(琉球大学)	「トートロジーと全稱命題」酒井智宏(日本学術振興会特別研究員)	「日本語とカザフ語のオノマトペの対照研究-擬態語の語末の撥音「N」を中心に-」サディグル・エルドス(北海道大学[院])	「中間構文の習得からみた構文文法的再考」谷口一美(大阪教育大学)	「「形容詞ク」形の機能について-参与者志向性の再評価-」浅井良策(大阪大学[院])	「フランス語の「目」に関する熟語とメタファー表現-認知的基盤と外国語教育への応用可能性-」治山純子(東京大学[院])
第2発表	10:10 10:50	“Analysis of Experimental Poetry using Blending Theory: A Case from Concrete Poetry” 水野真紀子(東京大学[院])	「トートロジーからみた知識構造と談話構造」古牧久典(東京大学[院])	「新造オノマトペの創発とその動機付けに関する考察」井上加寿子(大阪大学[院])	「動詞・形容詞の否定形のインプットの頻度と習得プロセスとの関係」森山新(お茶の水女子大学大学院、ナイゲン・バイルマー(お茶の水女子大学[院]))	「「?~しか...ない」構文」の認知言語学的分析」山本幸一(愛知教育大学附属高等学校)	「身体性に基づくイメージ拡張: STRAIGHTNESSとCROOKEDNESSに関わるメタファーを材料として」寺西隆弘(同志社大学)

休憩(10分)

第3発表	11:00 11:40	「根源的用法のmustのプロトタイプ効果: 発話行為とICMの観点から」真田敬介(北海道大学[院])	「英語関係節の認知的考察-制限的、非制限的用法の合成経路-」野坂雄二(金沢大学[院])	「擬態語は前言語(プロト・ランゲージ)か? : 脳機能イメージング研究からの示唆」荒田真実子(慶應義塾大学[学部])、今井むつみ(慶應義塾大学)、奥田次郎(京都産業大学)、岡田浩之(玉川大学)、松田哲也(玉川大学)	「歴史英語における語順確定と主語の情報連鎖機能に関して」柴崎礼士郎(沖縄国際大学)	「移動表現における非主要部の従属度と種類の段階性」守田貴弘(EHES / 東京大学[院])	「慣用表現の変形操作とその動機づけ-「目/手」を含む慣用表現の関係節化を例に-」土屋智行(京都大学[院])
第4発表	11:40 12:20	「「ノダ」の既定性-記憶モデルの観点から-」中野友理(北海道大学[院])	“Unsaturated Head Nouns and Relative Clauses in Japanese” 山泉実(東京大学[院])・オレゴン大学[院])	「オノマトペ的表現と対話能力発達の関わりについて-日韓養護学校の授業における運用事例観察を通して-」有働眞理子(兵庫教育大学大学院)、高野美由紀(兵庫教育大学大学院)	“Can Ikegami's typology of DO- vs. BECOME- languages go beyond English-Japanese contrastive linguistics to be a general framework for semantic typology?” 河内一博(東京外国語大学非常勤研究員) [presented in English]	「液体移動に関わる経路・様態表現の意味の拡張範囲」鈴木幸平(神戸大学[院])	「概念メタファー理論と構文文法の統合、およびその含意」大石亨(明星大学)

昼食休憩(12:20~13:30)

ポスターセッション(7号館703室)	13:30 14:50	「認知言語学とコーパス分析」李在鎬(情報通信研究機構)	「異なる周波数帯域を含む言語の聞き取りに音楽経験が与える影響」中村智栄(慶應義塾大学)	「構文はなぜ知覚可能か? : 構文知覚のメカニズムを共起強度に求める試み」吉川正人(慶應義塾大学[院])	「(容認度の低い例)の作例を効果的に行なうための手法とツールの紹介」黒田航(情報通信研究機構)	「比喩文の適切性評価に関わる主題と喩辞の認知」平知宏(京都大学[院])、楠見孝(京都大学大学院)	「動作場面の名詞化と2つのスキミング」川島嘉美(金澤大学[院])
		「移動動詞の文法化の通時的考察-「連用形+V」の形を中心に」百留康晴(文藻外語学院)、百留恵美子(高雄第一科技大学)	「五感のダイクシス知覚主体と刺激の関係の身体性」高嶋由布子(京都大学[院])	「句動詞における不変化詞 up and down のコーパス分析 Collexeme Analysis によるアプローチ」松村正寿(ランカスター大学大学院)	「視点変化が左右の指示領域に及ぼす影響」小島隆次(京都大学グローバルCOE)	以上、10件同時進行	

シンポジウム (15:00~17:40) (1B館 大講義室)	テーマ 認知言語学の基本理念を再考する <外>との対話を通して
	司会: 野村益寛(北海道大学)、講師: 加藤重広(北海道大学)、講師: 白井賢一郎(中京大学)、講師: 大津由紀雄(慶應義塾大学)

* 書籍展示は、両日とも7号館704